

## 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について

平成27年2月13日  
原子力安全対策課

平成25年12月25日に申請が行われた島根原子力発電所2号機に係る原子力規制委員会（以下「規制委」という。）での新規制基準適合性審査会合の審査状況等は次のとおりです。

## 1 前回の常任委員会（H27 1/21）以降に開催された審査会合

回数(開催日)	議 題	概 要
28回目 (H27. 1. 27)	有効性評価 (重大事故対策)	<p>&lt;中国電力の説明&gt; 炉心損傷後の格納容器破損を防止する対策のうち、「水素燃焼」の事故シーケンスに対する有効性評価として、水素燃焼が発生しないことについて説明が行われた。</p> <p>&lt;原子力規制委員会のコメント&gt; 水素燃焼防止に重要な酸素濃度について、評価終了時点（7日目）でも酸素濃度がわずかに増加する傾向があるため安定状態となるまで評価を行うこと、酸素濃度の見積りに使用した実験結果（現在は非公開）の開示を検討すること等のコメントがあった。</p>
29回目 (H27. 2. 3)	竜巻影響評価	<p>&lt;中国電力の説明&gt; 竜巻影響評価のうち、「評価対象施設の抽出」と「設計竜巻の設定」（92m/sを設定。施設の安全性確認は100m/sで実施）について説明が行われた。</p> <p>&lt;原子力規制委員会のコメント&gt; 評価対象施設の抽出漏れがないか確認すること、竜巻検討地域設定は審査ガイドに沿って気象条件の類似性から設定すること、過去の竜巻データ評価において見逃しなど不確実さを考慮した検討を行うこと等のコメントがあった。</p>
— (H27. 2. 5～6)	現地調査 (地震・津波)	<p>審査会合の一環として、石渡委員等による敷地周辺における追加調査状況の確認、敷地周辺及び敷地内のボーリングコア観察、既往調査結果の確認などが行われた。</p> <p>現地調査終了後、石渡委員から「宍道断層の西側については調査が不十分」等のコメントがあった。</p>
30回目 (H27. 2. 10)	緊急時対策所	<p>&lt;中国電力の説明&gt; 重大事故等に対処するための要員が滞在し、プラント情報等を把握するための設備や発電所内外との通信設備を備えた「緊急時対策所」の設備及び運用について説明が行われた。</p> <p>&lt;原子力規制委員会のコメント&gt; 緊急時対策所と原子炉建屋の緊急時プラント情報伝送システム（SPDS）データサーバを接続する通信ケーブルが基準地震動の耐震性を有さないことから多様性の観点で再検討すること、防護具配備の種類・数量について使用状況を考慮して再検討すること、緊急時対策所にとどまらない要員の一時退避場所の候補地と緊急時の判断の基本的な考え方を示すこと等のコメントがあった。</p>

## 2 その他

## (1) 審査状況に関する関係自治体向け説明会

26～30回目の審査会合の内容について、中国電力による関係自治体向けの第10回説明会が平成27年2月12日（木）に開催され（於 島根県原子力防災センター）、鳥取県を含む関係自治体の職員が出席しました（公開。一般傍聴可）。

## (2) 敷地周辺モニタリングポストの線量率上昇

平成27年2月5日（木）午前6時30分頃、島根原子力発電所敷地周辺のモニタリングポストにて、線量率の上昇（最高値はNo. 3の399nGy/h（6:34、2分値）。通常は30～80nGy/h程度）が確認されましたが、瞬間的な上昇でその後上昇が見られず、原子炉建屋エリアモニタ及び排気筒モニタに異常がないなど発電所による影響ではないことを確認しました。

なお、中国電力は今回の原因を落雷によるものとしています。

島根原子力発電所2号機 審査状況

平成27年2月13日現在

回数	開催年月日	議 題	
		地震・津波関係	プラント関係
1回目	H26.1.16	申請の概要	
2回目	H26.1.28	申請内容に係る主要な論点	
3回目	H26.2.20	敷地周辺陸域の活断層評価	
4回目	H26.3.19	敷地周辺海域の活断層評価	
5回目	H26.4.9	敷地周辺活断層評価(コメント回答)	
6回目	H26.4.16	地下構造評価	
7回目	H26.5.1	敷地周辺陸域・海域の活断層評価(コメント回答)	
8回目	H26.6.27	震源を特定せず策定する地震動	
9回目	H26.7.22		確率論的リスク評価(内部事象PRA)
10回目	H26.8.5		静的機器の単一故障に係る設計
11回目	H26.8.28		フィルタベント系(設計、仕様)
12回目	H26.9.5	地下構造評価(コメント回答)	
13回目	H26.9.11		フィルタベント系(運用、コメント回答)
14回目	H26.9.30		確率論的リスク評価(地震・津波PRA)
15回目	H26.10.2		事故シーケンスの選定
16回目	H26.10.14		有効性評価(重大事故対策)
17回目	H26.10.16		
18回目	H26.10.23		外部火災(森林火災)
19回目	H26.10.30		内部溢水
20回目	H26.11.6		外部火災(産業施設、航空機墜落)
21回目	H26.11.13		有効性評価(保管場所、アクセスルート)
22回目	H26.11.20		有効性評価(重大事故対策)
23回目	H26.11.21	地下構造評価(コメント回答)	
24回目	H26.12.4		内部火災
25回目	H26.12.9		有効性評価(重大事故対策)
25回目	H26.12.9		有効性評価(重大事故対策)
—	H26.12.19		<現地調査>
26回目	H27.1.15		有効性評価(重大事故対策)
27回目	H27.1.16	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)	
28回目	H27.1.27		有効性評価(重大事故対策)
29回目	H27.2.3		竜巻影響評価
—	H27.2.5-6	<現地調査>	
30回目	H27.2.10		緊急時対策所

: 今回の報告対象